

Investor's Report

2025年3月期 [2024年4月1日～2025年3月31日]

遵法に徹し、事業活動を通じて
持続的成長を確かなものに

1. 機械式駐車装置に関する公正取引委員会の調査結果のご報告

事業活動に関するご報告に先立ちまして、独占禁止法違反に関するご報告とお詫びを申し上げます。

2023年9月、当社は機械式駐車装置の販売について独占禁止法違反の疑いがあるとして公正取引委員会の立入検査を受け、以後同委員会の調査に協力してまいりましたが、2025年3月、一部の取引において競合他社との受注調整を行っていたことが判明し、排除措置命令および課徴金納付命令を受けました。

当社では、コンプライアンスに反する行為は、社会との信頼関係をはじめ企業価値を損なう重大リスクであることから、高い倫理観をもって損得よりも善悪を優先することを理念体系に織り込み、役職員の啓発に取り組んでまいりましたが、このような事態を招く結果となり、誠に申し訳なく心からお詫び申し上げます。役職員への「正しい知識」と「遵法意識」を深める社内教育の不徹底が招いた結果と、重く受け止めております。

本年3月24日、東京証券取引所と自社のウェブサイトにて、本件の結果のご報告とあわせまして、再発防止策および社内処分の内容を開示しておりますが、株主の皆様にも改めてご報告申し上げます。

(1) 再発防止策

主に以下の4項について、既に実施、あるいは継続して取り組んでおります。

- 私から全役職員に向けて、常に高い倫理観に基づく責任ある行動をとること、法律・ルールは決して犯してはならない旨のメッセージを繰り返し発信
- 2023年9月、弁護士および法務部門による調査チームを組成し、当社グループの営業担当者および他社との競争上の機微情報を扱う役職員に対して、独占禁止法違反に抵触するおそれのある行為の有無を調査
- グループ会社を含む全役職員を対象に、弁護士による独占禁止法遵守に関する教育を毎年度実施
- 競合他社間で競争上の機微情報の取り決めおよび交換を禁止するとともに、接触せざるを得ない状況が見込まれる場合は、事前に会社への届け出・審査および事後報告を義務づける社内規程を制定

代表取締役
取締役社長

五十川 龍之



(2) 関係者の処分

① 実行者に対する懲罰

本行為を行った従業員に対し、就業規則に基づく懲戒処分を科しました。

② 当該事業の責任者らに対する懲罰

パーキングシステム事業部門の責任者らに対し、以下の懲戒処分を科しました。

役職等	懲罰の内容(期間)
常務執行役員 パーキングシステム事業部長	月額報酬10%減額 (6カ月間)
パーキングシステム事業部 上席担当部長	月額報酬10%減額 (6カ月間)

③ 役員報酬の自主返納

私を含む以下3名の役員は、今般の事態を重く受け止め、報酬の一部を自主返納しております。

役職等	自主返納の内容(期間)
代表取締役 取締役社長	月額報酬20%返納 (3カ月間)
取締役 副社長執行役員	月額報酬15%返納 (3カ月間)
取締役 専務執行役員	月額報酬10%返納 (3カ月間)

また、本件で命ぜられた課徴金5,587万円は、立入検査後に当社が行ったリーニエンシーが認められ、30%減額されたもので、2025年3月期の決算に含めております。

本件に関しましては、公正取引委員会から正式に処分等が示されるまで詳細をお伝えすることができず、株主の皆様には長きにわたりご心配をおかけしましたこと、そして何より、ご期待に反し、法令違反の認定を受けたことにつきまして、改めてお詫び申し上げます。

また、当社は、2024年11月に特装車の架装物等の販売価格の決定に関しましても独占禁止法違反の疑いがあるとして公正取引委員会の立入検査を受けており、現在も継続して調査が行われております。株主の皆様には、重ねてご心配をおかけしており誠に申し訳ございません。本件につきましても、結果が明らかになり次第、速やかにご報告申し上げます。

2. 中期経営計画[SG-2026]の初年度を振り返って

2024年度は、同年4月からスタートした3カ年の中期経営計画[SG-2026]の初年度であると同時に、2030年を目標年とする長期経営計画[SG-Vision2030]を3つの中期経営計画で目指す第2フェーズに該当します。

業績につきましては本誌3～4ページでお示しているとおり、2024年度は前年度に対して増収増益となり、営業利益率も改善いたしました。主に、特装車セグメントにおいて、2回にわたって行った価格改定効果が出始めたことが増益要因となりました。

一方で、投じた資本に対してどれだけの利益を生み出したのかを示すROICは6.0%と向上したものの、[SG-2026]の目標水準(7%以上)に達するにはもう一段努力を要します。

セグメントごとの業績は本誌3～4ページの「連結業績ダイジェスト」をご覧ください、ここでは、2024年度の事業成果のトピックスをご紹介します。

■ 特装車セグメント

日本初の量産小型EV(電気)トラックに対応する架装物開発の一環として、三菱ふそうトラック・バス株式会社様の電気小型トラック「eCanter」の新型モデルに架装する「EV脱着ボデートラック」を商品化しました。

また、カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動として、水素燃料電池車をベースとする塵芥車の製作にも協力しました。

この他、廃棄物収集DXソリューションの具体化に向けた取り組みとして、バス・鉄道用のワンマンシステム機器などを手掛けるレシップ株式会社様と共同で、塵芥車による効率的な廃棄物収集業務の運用を目的とした「廃棄物収集業務効率化システム」の開発に取り組んでいます。

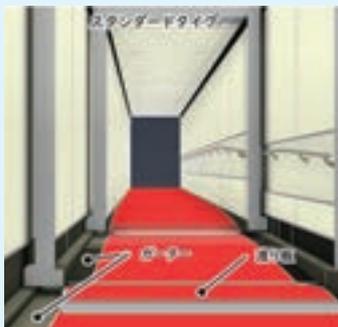
新型「eCanter」に
架装した
EV脱着ボデートラック▶



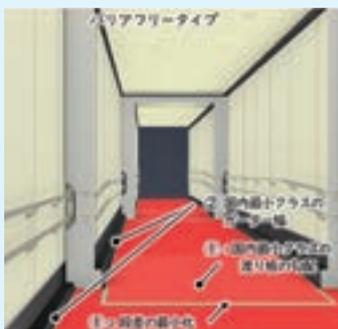
■ パーキングシステムセグメント

EV充電対象車種を拡大したエレベータ方式駐車設備「エレパーク®」の新モデルを開発しました。この他にも独自開発した輪番充電、充電予約、充電課金サービスをワンストップで提供できるパーキングサポートアプリ「SPASA®」など、EVの普及に寄与するサービス拡充に取り組んでいます。

また、航空旅客搭乗橋では、空港施設のユニバーサルデザインに配慮した「バリアフリータイプ」を開発、トンネル内のゲーター(溝)を覆うオプションもご用意し、搭乗者の安全や運用者への配慮に努めております。



▲ 航空旅客搭乗橋 PAXWAY
「スタンダードタイプ」



▲ 航空旅客搭乗橋 PAXWAY
新型「バリアフリータイプ」

※上の2点はイメージ図

■ 産機・環境システムセグメント

京都大学発のスタートアップ企業で、次世代太陽電池の本命とされる「ペロブスカイト太陽電池」の開発に取り組んでいる、株式会社エネコートテクノロジーズ様に出資しました。同社には、「ペロブスカイト太陽電池」の商品化・量産化を視野に、当社グループの大亜真空株式会社が製造する真空成膜装置付きグローブボックスも提供しています。

この他、高機能フィルムの製造過程における表面処理や、大型工具のコーティング除去等に使用する電磁コイル式の「大型イオンビーム源『リニアイオンソース』」を開発しました。従来品と比べて大型対象物にも照射できる点が特長で、イオンビーム稼働時以外は磁力が発生せず、作業性とメンテナンス性を向上しました。

■ 流体セグメント

2024年7月、小野工場(兵庫県小野市)敷地内に、大型水中ポンプの運転検査設備が完成しました。同設備は、近年多発している豪雨災害を踏まえ、雨水排水分野向け製品のラインアップ強化を目的に設置したもので、お客様に、納入前に実機の稼働状況を確認していただける環境が整いました。

*本事業の詳細につきましては、本誌5～6ページ「事業解説/流体事業」をご覧ください。

航空機セグメント

2024年、内閣府主導で創設された「経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program)」に、「海空無人機による海洋観測・監視・調査システムの構築」のテーマで参画することが正式に決まりました。本研究において、当社は自動投入・揚収に対応するAUV(自律型無人探査機)を調査海域まで運搬・投入・揚収する無人飛行艇の開発を担います。「US-2型救難飛行艇」の設計・製造で培った技術や、近年、種々の無人航空機の自社研究を行ってきたノウハウを活用し、本システムの実現に貢献する考えです。



無人飛行艇
イメージ図▶

また、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)が公募した「経済安全保障重要技術育成プログラム」の中の「高高度無人機による海洋状況把握技術の開発・実証」について、株式会社Space Compass様、株式会社三菱総合研究所様と共同で「HAPS^{*1}によるリモートセンシングを用いたMDA^{*2}システムと運航管理技術の開発・実証」を提案し、採択されました。

*1 High Altitude Platform Station (高高度プラットフォーム)

*2 Maritime Domain Awareness (海洋状況把握)

3. 2025年度の見通しについて

[SG-2026]の中間年にあたる今年度は、各種取り組みの進捗次第で最終目標の到達確度が左右される重要な1年と認識しております。以下に、[SG-2026]の基本方針をお示しします。

- ① 持続的成長の実現
 - ② 事業ポートフォリオ・マネジメント
 - ③ ROIC経営の浸透と推進
 - ④ 人的資本の強化
 - ⑤ 製品・サービスを通じた環境、社会への貢献
 - ⑥ リスクマネジメント・コンプライアンスの強化
- ①本業による収益拡大こそ、株主の皆様のご期待に応え、そして、当社グループのコンプライアンス面へのご懸念を低減する術(すべ)と考えております。
- ②①を推進する前提として、製品単位で「3C分析(顧客・自社・競合他社の3つを軸にした市場分析)」を行い、その結果をもとに注力事業や目指す方向を明確にする「ポートフォリオ・マネジメント」の実践が不可欠です。
- ③また、投資面では、リターンを念頭に置くことを重要視してお

り、社内各所でROIC(投下資本利益率)を意識する機会を増やしております。

- ④そして、6つの資本(財務、製造、知的、人的、自然、社会・関係)のうち、企業の成長を促す人的資本の発揮度を特に重視し、従業員の能力向上に資する投資をきめ細かく行っております。
- ⑤社会インフラと密接に関係する自社事業を通じた社会発展を軸に、製品・サービスの価値を客観的にご理解いただける指標・基準の設定に取り組んでおります。
- ⑥独占禁止法違反という事実を重く受け止め、再発防止策の実施・徹底に取り組むとともに、重要な経営リスクを抽出し、現状把握と発現時の対応策を定期的にアップデートしております。

ここに挙げた6項は、[SG-2026]の目標達成を志向したものです。同時にサステナビリティ経営をより確かにするとの考えに基づき、継続して取り組んでまいり所存です。

4. 株価/配当について

当社は、2024年5月、東京証券取引所に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」を開示しましたが、依然としてPBR(株価純資産倍率)は「1.0」を下回っております^{*3}。これは、当社の資本収益性や成長性に対する株式市場の評価の一端と受け止めており、短期的方策とともに、持続的な成長を期待していただくためにも、[SG-Vision2030]の推進を通じて、投資家の皆様に適正に評価していただけるよう努めてまいります。

一方で、配当につきましては、アンケートの結果からも、一定の評価を頂戴しているようですので、当中期経営計画期間中は「DOE(株主資本配当率)3%」を目安に実施してまいります。

*3 本誌発行日現在

5. 最後に

今号では、冒頭からお詫びを申し上げることとなり、株主の皆様には誠に面目ございません。加えて、特装車事業に関する独占禁止法違反につきましては、いまだ結果をご報告できる状態になく、不信の念を抱かれる状況が続きますこと、重ねてお詫び申し上げます。

こうした状況にもかかわらず、アンケートに叱咤激励のコメントをお寄せくださる株主様の存在に励まされております。グループの代表として、「遵法」に徹し、成長面でもご期待に応える経営を推し進めてまいり所存です。株主の皆様におかれましては、当社株式をご保有いただいておりますことに感謝申し上げますとともに、今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト

POINT

売上高 産機・環境システムを除く全てのセグメントが増収となり、全体でも増収。前期に続き、2年連続で過去最高値を更新。

利益 増収により営業利益は増益。139億円は、過去最高を記録した2015年度の152億円の次に2番目の水準。これに伴い、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、いずれも増益。



セグメント情報

主要5事業の製品/サービス内容の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。詳しくはこちらからご確認ください。



特装車

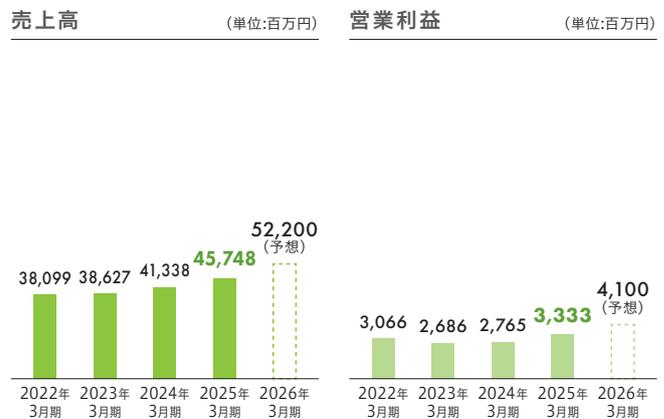
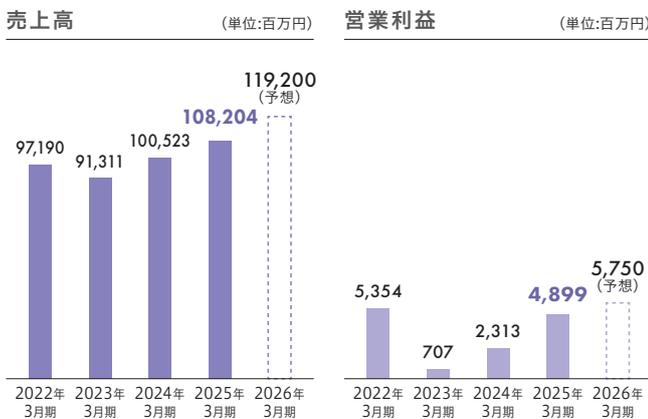
ニーズに合わせた「働く車」を製造・販売。作業性と安全性を共に満たす品質を追求しています。

主要製品/サービス 建設関連車両: リヤダンプトラック、ミキサ車
物流関連車両: テールゲートリフタ、トレーラ、タンクローリー
環境関連車両: 塵芥車(ごみ収集車)、脱着ボデー車
高性能林業機械

パーキングシステム

快適なモビリティ社会の実現をサポート。都市インフラを支えるソリューションを提供しています。

主要製品/サービス エレベータ方式駐車設備
二・多段方式駐車設備
コインパーキング
航空旅客搭乗橋



2025年3月期業績概要

- 主要部品(シャシ)供給遅延状況の緩和、売価改定効果等により増収。
- 増収による増益。

2026年3月期業績見通し

- 主要部品の調達ペース回復、売価改定効果の刈り取り等により増収増益を見込む。

2025年3月期業績概要

- 機械式駐車設備においては製品、サービス事業、いずれも増収。航空旅客搭乗橋も海外向けが伸長。
- 増収による増益。

2026年3月期業績見通し

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも増収を見込んでおり、営業利益も増益計画。

産機・環境システム

社会インフラを支える技術力、エンジニアリング力が強み。
EV化や循環型社会の促進に貢献。

主要製品/
サービス

- 自動電線処理機
- 真空乾燥装置
- ダイレクトドライブモータ
- ごみ中継施設

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



2025年3月期 業績概要

- メカトロニクス製品は、真空製品が大幅に減少し苦戦。環境関連事業では、主にサービス事業が伸長するも、セグメント全体では減収。
- 減収による減益。

2026年3月期 業績見通し

- メカトロニクス製品の回復を織り込んで増収を計画するも、運営費(人件費等)の増加等を勘案し減益を見込む。

流体

水インフラへの貢献を通じて生活環境を守る。
水環境の維持、水害対策に寄与する製品群が強み。

主要製品/
サービス

- 高効率・高通過性水中ポンプ
- 水中ミキサ
- 立軸槽外型ポンプ(雨水排水分野向け)
- 空気軸受式可変単段ターボプロフ

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



2025年3月期 業績概要

- 国内および海外向け、いずれの売上も増加し、増収。
- 増収による増益。

2026年3月期 業績見通し

- 売上高、営業利益はいずれも前年度並みを見込む。

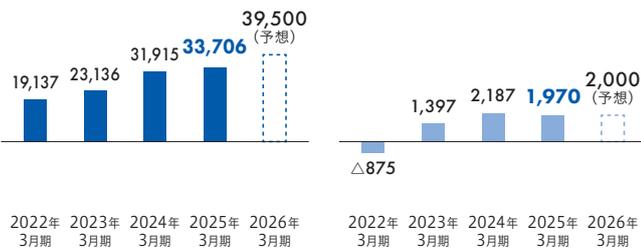
航空機

祖業の航空機技術を礎に、海と空で活躍。
固有技術と経験を糧に航空機の可能性を探求。

主要製品/
サービス

- US-2型救難飛行艇
- ボーイング社大型航空機「777」向け翼胴フェアリング
- ボーイング社中型航空機「787」向け主翼スパー
- 固定翼型無人航空機 ※開発段階

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



2025年3月期 業績概要

- 防衛省向け、民需関連、いずれの売上も増加し、増収。
- 777、777Xの生産機数減少に伴い減益。

2026年3月期 業績見通し

- 防衛省向け、民需関連、いずれも増収を見込むも、営業利益は横ばい計画。(為替前提 1ドル=140円)

その他

建設事業、不動産・人材派遣業、ITインフラ構築等、
グループ経営をサポートする横串機能。

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



2025年3月期 業績概要

- 建設事業の大口案件が寄与し、全体でも増収。
- 増収による増益。

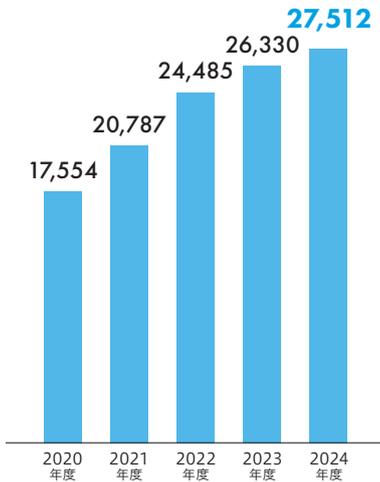
2026年3月期 業績見通し

- 建設事業の売上減により、減収減益を見込む。

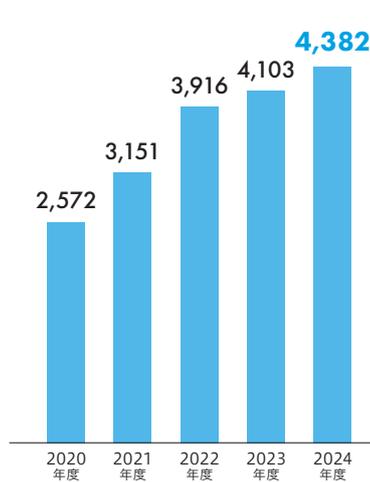
事業解説

流体事業

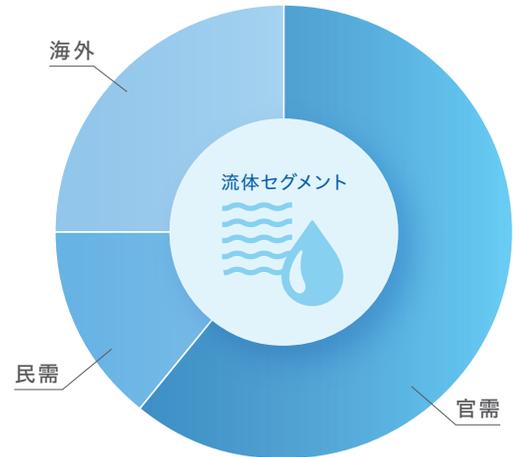
売上高 (単位:百万円)



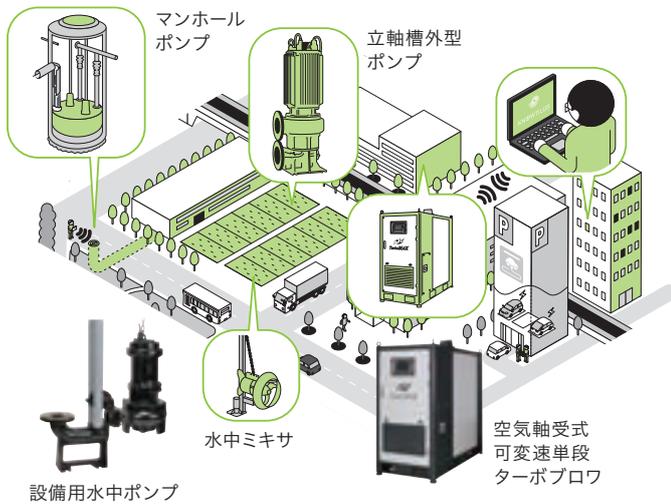
営業利益 (単位:百万円)



売上構成比 (2024年度実績)



1. 「流体事業」とは?



流体とは、気体と液体の総称です。当社流体セグメントでは、この中でも主に「下水」に関連する製品・サービスを手掛けており、下水道インフラを支える技術・ソリューションを提供しています。ここで言う「下水」とは、生活排水等に由来する「汚水」と、降雨に由来する「雨水」の両方を指します。

私たちの生活・経済活動によって発生した「汚水」は、地下の汚水管を通じて下水処理場に集められ、浄化された後に河川・海へ放流されます。また、降雨により都市部に流れ込んだ「雨水」は、雨水管を通じて集水・貯留された後に河川・海へ放流されます。当社流体事業部では、これらの過程で使用される水中ポンプや水処理関連機器の開発・製造・販売・施工・アフターサービスを、関連するグループ会社と共に行っています。

「水中ポンプ」の主な役目は、地下の汚水管を流れる汚水を押し流すことです。マンホール内に設置されている下水圧送システムの中で、2台の水中ポンプが常時稼働できる状態で待機しています。汚水にはさまざまな異物が混じっており、それによる「詰まり」が水中ポンプでは問題となりますが、当社主力製品のひとつ、高効率・高通過性水中ポンプ「CNWX」は、「詰まらせない」という使命のもと開発されました。このCNWXはタオル等の大きな異物がポンプ内で詰まらない特殊形状の羽根車を採用し、さらに高効率で省エネにも貢献する製品として、お客様から高い評価をいただいています。

この他、近年多発している雨水災害対策に貢献する製品にも力を入れています。一例として、「内水氾濫」*による都市部の浸水を防ぐ、強制排水用途の水中ポンプや、下水処理場の浸水に備えた水陸兼用(耐水型)ポンプのラインアップ拡充を進めています。

流体セグメントの主なお客様は自治体です。人手不足は自治体においても深刻であり、下水道に関わる業務の省力化・省人化は重要課題の一つです。当社では、この課題に対応すべく、AIやIoTを活用して下水関連機器を遠隔監視するシステムを開発しました。離れた場所から複数の機器の稼働状況が把握でき、故障予知機能を備えることで、下水関連機器の維持管理における省力化・省人化と安定稼働をサポートしています。

*内水氾濫: 雨水の排水が追いつかず、下水道・用水路・マンホール・小川などから水があふれ出す現象

2. 流体セグメントを構成するグループ会社

流体セグメントは、流体事業部と、右記のグループ会社を中心に運営しています。



グループ会社名	主な事業内容
新明和アクアテックサービス株式会社	流体関連製品の据付・保守・修理
フルテック株式会社	高圧洗浄機、塗装機等の機械器具製造・販売・修理
TurboMAX Co., Ltd.	ターボブロワの設計・製造・販売
Thai ShinMaywa Co., Ltd.	流体製品の製造・販売
ShinMaywa (America), Ltd.	流体製品の販売・保守・修理

3. セグメント長が、流体事業をPR!

流体セグメントの事業は、製品やサービスを通じて社会に直接貢献している点が最大の特長です。主力製品であるポンプ・ブロワ関連の市場環境は比較的良好ですが、当市場における強みは、製品のライフサイクル全体にわたって営業・製造・サービス部門が密に連携し、「お客様の想い」に的確にお応えしていることです。

少子高齢化や脱炭素、気候変動による豪雨災害対策などの社会課題に対応するため、当セグメントでは常に製品やサービスに新しい技術を取り入れ、事業領域の拡大と価値向上を目指しています。こうした取り組みが奏功し、近年は着実に収益を伸ばしています。



常務執行役員 流体事業部長
田村 功一

4. 流体セグメントの「ココ」に注目!

① TurboMax Co.,Ltd.をグループ化

2021年6月、韓国企業のTurboMax Co.,Ltd.(以下、TM社)をグループに迎えました。TM社は、省エネ、省メンテナンス、低騒音性を備えたターボブロワを製造・販売する企業です。

ターボブロワは、排水処理の重要工程である「ばっ気槽」に常時空気を効率的に送り込み、汚水処理を促す送風機の一つです。流体セグメントでは、かねて同社製品の性能の高さに着目し、日

本での独占販売権を得ていましたが、販売・アフターサービス体制の充実による基盤事業の強化、海外売上高の拡大を目的としてグループ化しました。

TM社は中国、インドにも拠点を有しており、当社製品のグローバル市場拡大に寄与する存在としても期待を寄せています。

② 雨水対策分野への対応力を強化

流体製品の生産拠点である小野工場(兵庫県小野市)に、2024年7月、新たな「大型水中ポンプ運転検査設備」が完成しました。

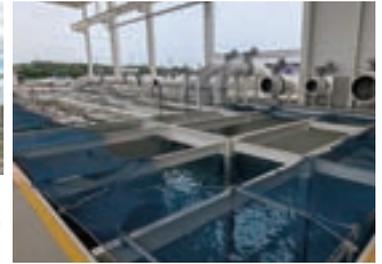
本設備は、近年多発している豪雨災害について、国・自治体による対策が加速する中、大流量の雨水排水を可能とする大型水中ポンプの需要増加を見込んで新設したものです。これにより、1分あたり250m³の排水が可能な口径1,200mmまでの大型ポンプの運転検査を行えるようになりました。



▲ 空気軸受式可変速単段ターボブロワ「TurboMAX®」



小野工場敷地内に完成した大型水中ポンプ運転検査設備(写真左:外観、写真右:水槽)



流体セグメントは、売上規模は当社の5つの事業の中で決して大きくはありませんが、安定した利益貢献と社会インフラにおける事業の必然性では、いずれも高い水準を誇っています。

株主の皆様の世界に入る機会のない製品が大半である点が残念ですが、長期ビジョンでうたう「都市・輸送・環境」に適合し、質の高い社会生活の維持に欠かすことのできない流体事業にご注目ください。

「株主様アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました!

前回は、約500名の株主様から回答をお寄せいただきました。記述回答欄にお寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

主な質問項目	ご回答内容/傾向
株式保有年数	「1~5年」と回答された方が、全体の6割
当社株を選ばれたポイント	①成長性、②配当、③安定性
注力してほしい株主向け情報提供	①ウェブサイト、②「Investor's Report」

VOICE

印刷費がもったいない。
ウェブサイトへの開示のみでよい。

紙媒体をご希望の株主様が多数おられることから、社会情勢を注視しつつ、当面は本誌発行を続けてまいります。一部の株主様から「折らずに送付してほしい」とのご要望もいただいておりますが、郵送料高騰を踏まえまして、これまで同様三つ折りにしてお届けいたします。ご了承ください。

VOICE

連結業績ダイジェストが、
情報量が増えて
分かりやすい。

ありがとうございます。今後も誌面を有効活用し、投資のご判断材料となる情報提供に努めてまいります。

VOICE

事業に関する情報量を
増やしてほしい。

前回掲載した特装車事業の解説に続き、今回は、貢献度の高さに対して認知度が低い流体事業をご紹介します。当社をご理解いただく一助となれば幸いです。

VOICE

知名度を
もっと上げてほしい。

多様なステークホルダーの皆様にご紹介いただけるよう、近年は大阪/関西国際空港、JR東日本の主要8駅等に企業広告を掲出するなど、ブランド認知の向上に注力しております。

今回も、裏表紙にアンケートフォームに遷移する二次元コードを記載しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

企業情報・株式に関する情報

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号 新明和工業株式会社
設立年月日 1949年11月5日
資本金 15,981,967,991円
従業員数 3,426名
連結従業員数 6,563名

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 70,000,000株
単元株式数 100株
株主数 28,023名

株主構成



()内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,228,500	12.45
三信株式会社	6,749,065	10.21
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,015,100	6.07
新明和グループ従業員持株会	3,332,665	5.04
住友不動産株式会社	1,837,800	2.78
東洋ビルメンテナンス株式会社	1,391,300	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,356,974	2.05
新明和グループ取引先持株会	1,147,522	1.73
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	909,700	1.37
JP MORGAN CHASE BANK 385781	737,717	1.11

(注) 持株比率は、自己株式数 (3,909,236株) を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

役員

役員については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinmaywa.co.jp/company/outline.html>

詳しくは
こちらから ▶



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日

配当金
・2025年3月期 1株当たり年間配当金:52.00円
(うち、期末配当金:27.00円、年間配当性向 38.3%、DOE 3.1%)
・2026年3月期 1株当たり年間配当金(予想):54.00円
(年間配当性向 38.8%、DOE 3.2%)

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人/特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

株主の皆様の「声」をお聞かせください

アンケートフォームへのアクセス方法

今回の「Investor's Report」の内容や、当社のIRIに関するご意見をお聞かせください。

右下の二次元コードからアンケートフォームにアクセスしていただけます。

回答してくださった方の中から抽選で、薄謝(QUOカードPay 500円分)をお送りいたします(メールアドレスのご入力が必要となります)。

2025年8月31日まで受け付けておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



▼こちらから

